



ささえあい

志布志市社会福祉協議会

検索

平成 23 年 3 月 25 日発行

第31号

写真 潤ヶ野 ふるさと自慢市&文化祭
(志布志町・潤ヶ野校区)にて



「大丈夫？」と
気遣ふ人おる
春隣
志布志町 七 兎

この年じゃ
神に頼まず
医者だのみ
志布志町 鞍掛 五雄

献身の
介護に陽をと
祈る日々
有明町 土橋 純香

孫の手じゃ
貼れぬカイ口に
妻恋し
有明町 野口 嵐

冬將軍
インフルエンザ
手土産に
志布志町 末次 秋男

- ・ 赤い羽根共同募金 各種募金実績／ありがとうメッセージ紹介
- ・ ボランティア活動保険加入助成／ボランティア募集！！
- ・ ふくし川柳・短歌・俳句募集！



平成 22 年度

赤い羽根共同募金へ

たくさんの方から
善意をいただきました！



募金総額 8,172,194 円

《内訳》
一般募金 6,370,794 円
歳末たすけあい募金 1,801,400 円

※鹿児島県共同募金会へ
全額送金しました。



一般募金 内訳

戸別募金	4,792,800 円
街頭募金	217,251 円
法人募金	213,000 円
学校募金	130,883 円
職域募金	163,878 円
イベント募金	315,832 円
個人募金	18,467 円
その他の募金	518,683 円
合計	6,370,794 円

歳末たすけあい募金 内訳

戸別募金	1,663,500 円
個人募金	12,100 円
その他の募金	125,800 円
合計	1,801,400 円

平成 22 年度は、志布志市社会福祉協議会へ

事業の一部を紹介します

5,559,425 円が配分され、様々な活動資金に活用されています！

敬老訪問



事業費 116,000 円

敬老をお祝いして白寿の方 22 名、100 歳以上の方 36 名へ記念品をお渡ししました。

歳末年越しそば・弁当宅配



事業費 199,240 円

ボランティアや民生委員により、一人暮らし高齢者等へ手作りの年越しそばやちらし寿司をお届けしました。

教職員ボランティア講座を開催



事業費 18,609 円

学校の教職員を対象に、児童・生徒と一緒にできるレクリエーションや車イス体験等の講座を開催しました。

障がい者戶外ふれあい



事業費 29,561 円

障がいをお持ちの方、介護者が交流を図りました。写真はイオンショッピングセンター（都城市）にて撮影しました。

平成 22 年度に志布志市社会福祉協議会に配分された

5,559,425 円

高齢者のために	2,437,240 円
障がい児・者のために	369,561 円
児童・青少年のために	100,000 円
母子・父子世帯のために	160,000 円
福祉育成のために	768,431 円
広報のために	1,724,193 円
配分額合計	5,559,425 円

福祉作文・絵画コンクールを実施



事業費 349,822 円

小・中学生を対象に「第 5 回志布志市福祉作文・絵画コンクール」を実施し、福祉育成に取り組んでいます。



共同募金配分金ありがとうメッセージ

～赤い羽根共同募金の配分を受けた方々からのメッセージを紹介します！～

配分先：しぶしおもちゃ病院
事業名：ボランティアグループ活動助成事業

配分金額：15,000円

つかいみち：のぼり旗等の資材購入

貴重なボランティア募金の中から助成金を頂き有り難う御座います。お陰様で毎月第2土曜日、健康ふれあいプラザ内においておもちゃ病院を開院しております。志布志の将来を背負ってくれるであろう子ども達に、モノの大切さや素直に有難うと言える子どもの子育て支援の手助けが出来ればと、地味なボランティア活動ですが、どうぞお気軽にご利用と、ご支援宜しくお願い致します。おもちゃのことなら「しぶしおもちゃ病院へ」
(大山博美)



配分先：志布志市立 志布志小学校
事業名：ボランティア協力校市指定助成事業

配分金額：50,000円

つかいみち：花苗、種、プランター等の購入

志布志小学校では、いただいた5万円の活動費を児童会を中心に話し合っ「花と緑と笑顔の学校」になるように、環境緑化や美化活動に使うことにしました。おかげで1年を通して花いっぱい为学校にすることができました。来校された方々から「きれいだね」と言われる度にうれしくなっていて、おもわず笑顔になります。ありがとうございました。

(児童代表 6年 南斗真)



配分先：ボランティアグループなかよし、有明地区民児協
事業名：歳末年越しそば宅配事業

配分金額：54,989円

つかいみち：椎茸、調味料等の材料費

共同募金のお陰様で独居高齢者の方々に年越しソバを届けるようになって20年になりますが、今回は241名の方に届けました。30数名で手際よく和気あいあいの下、みるみる内に出上がるソバ・出し汁・薬味そして「お気を付けて、よいお年を」のメッセージを添えて喜んで下さる笑顔に会えるのを楽しみに足取りも軽くなります。
(榎添登美子)



配分先：尾野見地区社会福祉協議会
事業名：ひとり暮らし高齢者の集い

配分金額：26,700円

つかいみち：ダンゴ汁、おにぎり等の材料費

かねて一人暮らしの高齢者に憩いの場を設けて、「励まそう」と1月23日に公民館に集って、指体操、映画を見て会員15名で作った、なつかしいダンゴ汁、おにぎり等を35名でいただきました。参加者から「今年も来てよかった」と言われ感動しました。助成を受け参加者から喜ばれ、募金に協力された方々に恩返しできました。

(中村正人)





皆さまからのたくさんのお善意に感謝いたします。

平成22年度共同募金実績報告

平成22年度 共同募金 実績報告

皆様の善意に感謝いたします。

同不順・略称
おてし掲掲
ります。

街頭募金

志布志地区

- ・タイヨー志布志店
- ・サンポートしづしピア店
- ・ニシムタ志布志店
- ・エプロンロード
- ・サンキュー西志布志店

有明地区

- ・Aコープあおぞら店
 - ・(株)四季彩館ほりぐち志布志店
 - ・ミネサキ有明店
- 合計21万7,251円

法人募金

志布志地区

- ・宮崎銀行志布志支店
- ・井や和華
- ・鹿児島興業信用組合志布志支店

有明地区

- ・軽食喫茶ツクシ金剛寺前店
- ・春日歯科医院
- ・横山歯科医院
- ・(株)脇岡
- ・宮原葬祭
- ・ケーキハウスカネヤマ
- ・うえはら電器店
- ・堤水産(有)
- ・大田食堂
- ・リカーズ酒店
- ・(有)竹井葬祭
- ・かごしま屋志布志店
- ・(有)久保田自動車
- ・内山ショッピングセンター
- ・宮ヶ原写真店
- ・スタジオフィルス
- ・吉亭
- ・ブックセンターあいか
- ・ふらわーギャラリーやまだ
- ・岩本かしわ専門店
- ・伊崎田養魚場
- ・三七十庵
- ・味のヤマヒコ亭
- ・シヨップینگ橋口
- ・上野石油店

学校募金

志布志地区

- ・(有)山中水道建設
 - ・鍋山自動車整備工場
 - ・福岡精米所
 - ・高原写真館
 - ・(株)四季彩館ほりぐち志布志店
 - ・さめしま歯科
 - ・飯山歯科
 - ・かすが歯科
 - ・(有)メガネの福留
 - ・有新塗料商会
 - ・塩塚自動車
 - ・宝満自動車
 - ・医療法人参照会みやじフリニツ
 - ・有明総合サービスセンター
 - ・清雲
 - ・社会福祉法人欣生会小松の里
- 合計21万3,000円

有明地区

- ・森山小学校
- ・八野小学校
- ・志布志中学校
- ・田之浦中学校
- ・出水中学校
- ・志布志高等学校
- ・尚志館高等学校

松山地区

- ・伊崎田小学校
 - ・有明小学校
 - ・通山小学校
 - ・蓬原小学校
 - ・野神小学校
 - ・原田小学校
 - ・山重小学校
 - ・伊崎田中学校
 - ・有明中学校
 - ・宇都中学校
 - ・松山小学校
 - ・泰野小学校
 - ・尾野見小学校
 - ・松山中学校
- 合計13万883円





職域募金

志布志地区

- ・志布志市役所志布志支所
- ・志布志地区
- ・民生委員・児童委員協議会
- ・社会福祉協議会志布志本所
- ・賀寿園職員一同

有明地区

- ・志布志市役所有明本庁
- ・あおぞら農業協同組合
- ・有明地区
- ・民生委員・児童委員協議会
- ・社会福祉協議会有明支所

松山地区

- ・志布志市役所松山支所
 - ・松山地区
 - ・民生委員・児童委員協議会
 - ・松山やっちく会職員一同
 - ・社会福祉協議会松山支所
- 合計16万3,878円

イベント募金

志布志地区

- ・第10回共同募金
- ・チャリティゴルフ大会
- ・第20回共同募金
- ・チャリティゲートボール大会
- ・ボランティアの集い
- ・（共同募金）ラウンドゴルフ大会

松山地区

- ・県建築士会曾於支部
 - ・青年女性部会
 - ・やっちく秋の陣祭り会場内募金箱
 - ・松山中学校募金
 - ・ボランティア活動
 - ・手芸バザー
 - ・川上輝紗恵 半田佳与
 - ・中村ヨウ子 谷口きよみ
 - ・吉田よし
 - ・曾於農業共済組合松山出張所
 - ・松山地区ボランティアグループ
- 合計31万5,832円

個人・団体募金

志布志地区

- ・柿元孝康
 - ・樋渡秀則
 - ・匿名(3名)
- 合計6,587円

その他の募金

志布志地区

- ・募金箱
- ・エブリワン志布志店
- ・ローソン志布志安楽店
- ・マルチヨンラーメン店
- ・寿司虎志布志支店

歳末たすけあい募金

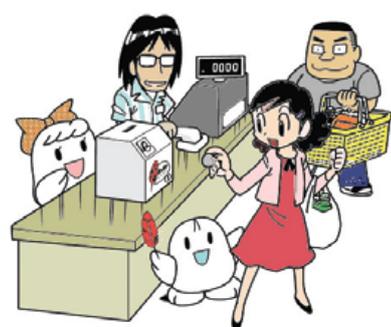
個人・団体募金

志布志地区

- ・志布志町更生保護女性会

松山地区

- ・匿名
- 合計2万1,500円



社協会費一覧

3/14 現在

会費名	各数	金額
一般会費	9,680 戸	1,936,000 円
賛助会費	117 名	117,000 円
団体会費	7 団体	36,000 円
特別会費 (※下記、一覧参照)	64 事業所	405,000 円
合計		2,494,000 円

特別会員一覧

(順不同、敬称略)

坂口装飾	(有) 北崎水産加工
(株) 内山組	南九州液化ガス(株)
(株) エコープ鹿児島 Aコープあおぞら店	医療法人 皓歯会 坂元歯科医院
(株) カクイックスウィング曾於サテライト	(有) のせ電器
医療法人 ささき歯科・小児歯科	(有) 志布志塵芥サービス
加治屋正樹税理士事務所	坪水醸造(株)
特別養護老人ホーム 賀寿園	(有) 三井メディックス
(有) 川崎米穀店	医療法人 一斉会 陽春堂内科診療所
(株) ホームマン北山	(有) 鬼塚製茶
(有) 南九州記念品店	富松石油店
山角米穀店	桑鶴電気管理事務所
(株) 鹿児島有恒社	(有) 上村本店
橋口自動車整備工場	フンドーキン醤油(株)
医療法人 愛誠会 昭南病院	大山病院
どうぞの自動車	(有) 丸五
金田消防防災(株)	(有) 丸八水産
医療法人 手塚クリニック	アサヒ物産(株)
医療法人 SAKURA	志布志船舶給水(株)
竹田水産	医療法人 左右会 藤後病院
(有) 久保田自動車	(株) 岡崎鶏卵志布志店
鍋山自動車整備工場	(株) 久永
医療法人 昭平会 平川内科	(有) 松原建設
(有) スーパーぬきさこ	医療法人 秀聖会 山下クリニック
医療法人 誠仁会 はまさき耳鼻咽喉科	(有) 宝満自動車
松尾自動車	(株) 大隅衛生志布志
(有) 田中通信工業	南日本マイクロコンピューター(株)
鹿児島黒豚新地農場	(有) ミヤウチ
(株) セキュリティサービス	(株) エム・ディ・エス
(有) 上平工務店	(有) 東山石油店
(有) 志布志水道	そお鹿児島農業協同組合 志布志支所
(有) うえはら電器	かわさき電機
松山重機サービス	天水製茶

平成22年度
社会福祉協議会会員加入
ありがとうございました

市社協では、福祉活動に賛同しその目的達成のため援助していただく会員制度を設けています。昨年度も多くの個人会員・賛助会員及び団体会費・各事業所等の特別会員に加入していただきました。皆様のご理解とご協力に深く感謝申し上げます。

志布志市社会福祉協議会会費では、 次のような事業を行っています。

志布志市社会福祉協議会では、『誰でも安心して暮らせる福祉のまちづくり』を目指しております。皆様一人一人が会費納入のご協力により社会福祉協議会の構成員となり地域の福祉を支えております。また、会費の一部で下記の社会福祉事業を推進しております。いわば皆様が市内の福祉向上の一役担っております。どうぞ趣旨をご理解いただきまして今後も、志布志市社会福祉協議会会費の納入にご協力をよろしくお願い申し上げます。

① 福祉のまちづくり事業

行政の地域福祉計画への参画とこれに連動した「地域福祉活動計画」の策定を目指す。小地域ネットワークの活動の推進。広報活動。福祉活動の啓など。



② 心配ごと相談所設置事業

人間関係、財産問題、結婚、離婚、事故、法律等相談者の立場になって相談員が解決の糸口へと導きます。



③ ボランティアセンター活動事業

ボランティア団体の活動援助、堀り起こし、広報を行っています。青少年の福祉に対する関心を高める為にボランティア協力校指定、福祉作文絵画、福祉体験学習等、また一般の方によるボランティア育成講座、教職員ボランティア講座、またサロン活動等も行っていきます。



④ 各種資金貸付事業

低所得者世帯や身体障害者世帯、高齢者世帯の自立更生を図るため貸し付ける生活福祉資金貸付事業を行っています。



⑤ 福祉団体育成支援

心身障害者（児）一日戸外遠足、移送サービス事業。また、各種福祉団体育成援助活動を行っています。



⑥ 災害援護事業

火災、自然災害等により罹災された方に見舞金を支給する事業を行っています。また日本赤十字社市地区より救援物資、共同募金より見舞金の支給も行っています。



■ 応募方法

2名募集します。①郵便番号②住所③氏名④性別⑤電話番号⑥職業を記入の上、はがき、Fax、Eメールにて「委員希望」と明記し下記までご応募下さい。なお、応募多数の場合は年齢、地域性を考慮した上で決定し、決定者のみ通知いたします。

■ 謝礼は？

○委員会出会：4,000円
（1回あたり）、費用弁償
※委員会は年2〜3回の開催予定
です。

■ 対象者は？

志布志市内に住所を有し、平成23年4月1日現在、年齢が満18歳以上の方で赤い羽根共同募金に関心のある方。当法人の理事、評議員及び職員又は、これらに類する他の職務を兼任しない方。

■ どのようなことをするの？

共同募金委員会に参加して、共同募金の使われ方について意見を出したり、共同募金の配分金を受ける団体を審査したりします。

■ 志布志市共同募金委員会とは？

赤い羽根共同募金の集め方や使い方などについて様々な団体や住民が参加し意見交換を行う場です。

赤い羽根共同募金について一緒に考えませんか？
志布志市共同募金委員会の委員募集！

■ 応募期限

平成23年4月12日（火）必着

■ お問い合わせ先

志布志市社会福祉協議会
志布志本所
☎ 472・1800 担当：地域福祉係

応募先

〒899-7103
志布志市志布志町志布志 3222-1
(志布志市健康ふれあいプラザ内)
志布志市社会福祉協議会
共同募金委員募集係

・ Fax : 472-1593
・ Eメール : info@shibushi-syakyo.jp





輪多市とは「多くのボランティアの輪と志布志市に広めましょう」の意味です。

シリーズ ようこそサロニンへ！

森山地区サロン（志布志町）
このシリーズでは、志布志市内の「ふれあいいきいきサロン」を市民編集員有馬ケイ子さんの取材の元、紹介します。

今回は「森山地区サロン（志布志町）」を紹介します。

今別府公民館で月1回開催されており、参加者は5名とこじんまりとしたサロンでした。会場の周りは畑とビニールハウスがあり、時には自然に親しみながらの散歩もプログラムに組み込まれており、季節を感じさせる場所での開催になっていました。

当日の流れは、健康チェックとお喋りをしながらの茶話会、そしてメインにエコクラフトでの小物づくり挑戦し、各自出来上がりを持ち帰ることができるよう設定されていました。

今日が初めての参加者があり、お嫁さんに伴われての参加で歓迎を受けていました。この方はいろんな活動をされ、特に地域では「だごづくり名人」として若手を育て後継者も出来て良かったと参加者からは労をねぎらう声がかかっておりました。

参加の新人は93歳になる女性で「参加することを楽しみにしており、昨夜はそわそわした」と話しながら輪の中に入っていくかれ、安堵した笑顔と温かい雰囲気「ホッ」とされておられました。

参加者からは、「ここに来ることにより、皆と笑ったり語らったりと楽しい時間を過ごせ最高」と笑顔で話されていました。

エコクラフトを使い小物づくりに取りかかるまでには、参加者は配色を考え好きな色を選ぶ作業に時間をかけ、悩みながらも納得する色を選ぶのに集中し、まるでカラーセラピーのようで、どの方も真剣に目を輝かせて選んでいました。次は、指先を使う細かい作業で悪戦苦闘の連続で、やっと出来た小物は世界に一つしかない何物にも代えがたい宝物となったようです。

講師によると、材料選びの配色や細かい手作業は脳の活性化にもなるということ、最後出来るまで目配りの中で、物を作り上げる楽しみを感じさせるひと時を過ごし、時には、物を作るといっても楽しみなものではないかと今回の集いで新しい発見でした。作り上げるという達成感を感じてからのお茶はおいしく、ぜんざいやおはぎに漬物などいいただき、参加者の笑顔がとても素敵なサロンでした。



エコクラフトづくりにて

地域に「元気を届けてます」 サロンボランティア研修

市内の各サロン会場で活躍している、サロンボランティアの研修会を開催し健康増進を図るため、「鹿児島鍼灸治療院」の泊平八郎院長に実技を交えて楽しくご指導をいただきました。

また、弾む歌声のフロムしじし（志布志市の歌）に合わせ「はつらつ体操」を実践しました。

参加者の声



「つぼと健康」の講演は、一つ一つがとっても勉強になりました。食生活にも旬のものを取り入れ、健康な体を作り、疲れたらつぼマッサージをしようと思います。フロムしじしに合わせたはつらつ体操は、「志布志の歌」と感じられるいろいろな場所で普及ができればいいなと思っています。

参加者の声



「つぼと健康」ととても良かった。さっそくサロンでやってみよう。もう少し多くの人にサロンに来てほしいですが、なかなか人集めは大変です。でも、毎回楽しくやっています。

高齢者ふれあい・いきいきサロンで 楽しみませんか？

高齢者などが生きがいを見出し、地域において孤独感の解消や心身の機能低下の防止を図ることを目的に安心した生活を送れるように、地域の公民館や個人宅を利用して、お茶を飲みながらおしゃべりを楽しむものです。

現在、志布志市内で、35ヶ所（松山町14ヶ所、志布志町12ヶ所、有明9ヶ所）で楽しんでいます。月に一回の参加費が100円必要で、開催場所まで自分で歩いて来れる方等が対象となります。また、事故やケガに備えて社会福祉協議会で保険に加入いたします。





茶がらスティックを作っているところ
(施設ボランティア)

有明町
**ボランティアグループ
「なかよし」紹介**

私達、ボランティアグループ「なかよし」は、平成6年3月、ボランティア活動で地域に貢献する目的で結成しました。現在80名(男性6名女性74名)の会員が7校区で活動しております。

主な活動内容は、施設ボランティア、ふれあいサロン、歌の宅配、絵手紙年賀状、年越しそば作り、本の読み聞かせ、マイロードクリーン作戦、地域ネットワーク見守り活動などです。なかでも、「施設ボランティア活動」では、現在、特別養護老人ホーム「小松の里」に訪問し、入居者の方々と交流等しています。

また、全国的にも珍しいユニークな活動「歌の宅配」は、「ふれあいサロン」に参加できない一人暮らしの高齢者宅にCDラジカセ持参で歌のリクエストに応える活動です。

**ボランティア
募集コーナー**



サロンでの団らん風景

「お問い合わせ先」
**ボランティアグループ
「なかよし」**
会長 永沼順子
☎474-0343

ボランティアグループ「なかよし」では、ボランティアをされる方の会員募集をおこなっております。「歌の宅配」「ふれあいサロン活動」などボランティアに興味のある方は是非私達と一緒に活動してみませんか。

入会または活動内容など詳しいことをお聞きになりたい方は、左記または各校区代表者へお問い合わせ下さい。

■補償内容

- ・活動中に様々な事故によるケガや賠償責任を補償します。
- ・ボランティア活動のために開催した学習会や会議等も補償の対象となります。

■加入できる方

当ボランティアセンターにボランティア登録されている個人または団体のボランティア、NPO法人またはその所属の無償ボランティア

※新規登録も随時受け付けております。

■助成期間

平成23年4月1日～
平成23年6月30日

■ボランティア活動保険補償期間

加入申込手続き完了日の翌日午前0時～
平成24年3月31日午後12時

志布志市社会福祉協議会(志布志市ボランティアセンター)では、ボランティア活動中の事故・災害等を幅広く補償する「ボランティア活動保険」の加入受付を行っております。助成期間中に申請しますと、1人当りの掛金の内100円を助成いたします。

ボランティア活動保険加入助成のご案内

- ・活動場所と自宅との往復途上の事故も補償の対象となります。
- (※自宅以外の場所から出発する場合は、その場所と活動場所の途上となります。)

加入プラン タイプ	Aプラン	Bプラン
基本タイプ	280円	420円
天災タイプ (地震・噴火・津波)	490円	720円

※上記金額は年間保険料です。

■ボランティア登録

加入申込み時にボランティア登録がお済みでない方は、登録が必要となります。(必要事項を登録用紙に記入します。)

■お問い合わせ・お申込み先

志布志市社会福祉協議会
志布志本所 ☎472-11800
松山支所 ☎487-12001
有明支所 ☎474-0310

地区社協だより

小地域で福祉活動を展開する
地区社会福祉協議会を紹介します。

夏井陣岳地区

社会福祉協議会

(志布志町)

- ・人口総数 403名
- ・65歳以上の人口 182名
- ・高齢化率 45.2%

(平成22年4月1日現在)
私達、夏井陣岳地区社協は、地区民が積極的に行事などに参加しやすいよう日頃の活動を通して、生き生きと暮らせる地域づくりを目指して頑張っております。

「いきいきふれあいサロン」

【外之牧サロンのPR】介護保険制度改正等により、地域での生きがいデイサービス利用も限られ、高齢者の生きがいの場所も少なくなりつつあるため、サロン参加者全員で、健康増進のためのグラウンドゴルフ開催や指導者による健康保持のための健康体操、参加者の日頃の孤独感解消と結びを図っています。休憩時間にはお茶や季節の料理などを持ち寄り世間話をしながら楽しく過ごし毎月1回開催しております。

【夏井サロンのPR】月に1回皆さんと会話をしながら昼食を楽しみます。環境のことも考え、自分の箸を持参しています。集落内外の



【ふれあいの集い】にて(H23. 2/13開催)
一人暮らし高齢者の方々が交流を深めました。

方々へ参加の声をかけしておりますが、要介護の方も参加できる環境作りに努めています。

「近隣福祉ネットワーク(見守り活動)推進事業」

日頃から民生委員や協力員、地区社協役員、老人会、地区住民が一人暮らしの高齢者、身体障害者所帯を訪問し声かけや安否確認、見守りを続けています。年に1回皆さんが首を長く待っていらっしゃる集いを開催して、お互いの健康な姿を見て喜び合い和気あいあいの中楽しく食事を摂りながら昔話をしたりします。また、公民館長、老人会長、自治会長等の話を聞いて近況を知り、レクリエーション(三味線、歌)では、踊ったり手拍子をしてりして、最後は抽選会を行い愉快なひと時を過ごします。来年も又元気で会いましょうと言いつて握手したり、声をかけながら挨拶をして笑顔で別れました。

「一人暮らし高齢者の集い」

毎年12月のクリスマス当日にこの事業を実施することによって一人暮らし高齢者の方々から大変喜ばれます。地区社協役員、子供会、保護者も一緒に集いクリスマス会を開催し、ケーキや飲み物、弁当を食べながら子供達とふれあいます。高齢者の方々が昔話をされたり、子供達が声をかけ遊んだりします。一生懸命子供達が準備や後始末を手伝いする姿を見て感心されたりし、最後はお楽しみビンゴゲームをして終わります。楽しかった、楽しかったと言われ開催して良かったと関係者一同喜ぶことでした。仲間意識が充実する中で、この機運が今後益々高まり絆が一層深まり、今後も発展継続出来るよう関係者一同心がけてまいります。

(地区社協役員、関係者一同)

野神地区

社会福祉協議会

(有明町)

- ・人口総数 1,762名
- ・65歳以上の人口 499名
- ・高齢化率 28.3%

(平成22年4月1日現在)
私達地区社協は校区公民館の別組織としまして、公民館役員、民生委員やボランティアの方々、老人クラブ、小学校、駐在等を構成員としまして地域の福祉活動を実施しています。

「野神校区ふれあいのつどい」を実施

ふだん会うことの少ない校区内一人暮らし高齢者などが一同に集まって、ゆつくりとお話をされたり、各種催しなどで一日を楽しみ、元気になるようになってもらうこと



【ふれあいの集い】にて(H22. 10/31開催)
志布志中学校長によるマジックショーも楽しみました。

を目的としまして今回(10月31日)初めてこのつどいを開催しました。

当日は、予想を超えた100名近い高齢者、関係者に参加頂き、高齢者に被害の多い「悪徳商法を防ぐために」の講話やマジックショー、田淵 司さんの「皆で歌おう・昔懐かしの歌」など盛りだくさんのプログラムで楽しく一日を過ごされました。昼食は公民館女性部の手作りカレーライスに大変喜ばれ、その後のお楽しみ抽選会は大いに盛り上がりました。

「今日は楽しかった。来年もぜひ参加したい。」の参加者の声に、このつどいは日々在宅で生活されておられる高齢者の楽しみの一つとして効果があつたと思います。

「福祉ネットワーク見守り活動」

市内各地区社協ではこの事業を実施されておられますが、私達野神地区でも地域の見守り、安否確認が必要な高齢者や障害者が安心して生活が送れるようにこの活動に取り組んでいます。

野神地区社協を核としまして、地区内を三つの班に分けて、それぞれのグループでは民生委員を中心に見守り協力員が高齢者宅を訪問して声かけ、安否確認を行っております。

ネットワーク会議は年間2回開催し、今年も地区内の要援護者や協力員の状況、危険個所を確認するうえで、福祉マップ作りにも取り組みました。

(会長 市ヶ谷 誠)

まのへんせ

このコーナーでは、生活に役立つ様々な情報を取り上げていきます。知りたい情報、質問等ありましたら、社協各支所までお問い合わせ下さい。

今回の特集 『花見』

今回は、花見見物等についてご紹介いたします。

今年の桜開花予想は大隅で3月20日から3月23日の期間だそうです。(桜開花予想ウエザーニューズ)

志布志市では大浜緑地公園(志布志市体育館横)、大師公園(志布志町松原集落)、志布志市役所本庁隣、松山運動公園そばの松山城址などが主な見物場所です。

満開の桜の下で、時間を忘れて、家族、恋人、友人、会社の同僚など楽しいひと時を過ごしてみたいかがでしょうか。コップに花弁が入ると良いことがあるそうですよ。

あと、立つ鳥、跡を濁さず。これを忘れないで皆で気持ちよく花見をしましょう。



宇都中学校生徒会活動

(川上 敦校長)

暮れも押し迫った12月28日、晴天に恵まれたのも、やはりこういったボランティア活動を自主的にしたいという中学生の姿があったからでしょう。

宇都中学校生徒会12名(2年生11名、1年生1名) 会長 城之尾みさきさん) 午前9時から正午まで、「J A あおぞら総合福祉センター」で年末越しの清掃活動等を手伝いました。

この活動は、平成21年度からスタートし、今年で2回目になります。学校の先生から言われたのではなく、生徒会から自主的に発足し、掃除をしたり、施設をご利用されている高齢者とも対話等でふれあうなど、施設だけでなく、ご利用者の方の笑顔まで引出していたように思えました。



世代間交流で楽しいひととき

10年後、20年後のわたしたちの住むまちを想像してみませんか。

社会福祉協議会では、自分たちの住むまち(地区)をもっと知ってもらい、そこから将来、笑顔で生活していくための方法を探ろうとまち(地区)を語る会をモデル地区を指定し推進しています。

松山町泰野地区福祉(友愛) ネットワーク推進会議(見守り活動事業)では、まずはもつとまち(地区)を知ろうと、「まちのいいところ」「ご近所の困りごと」について、意見を出し合いました。

特徴として地域のつながりが深いこと、若い世代が少なくなったことや認知症への理解不足、ゴミ分別が難しいこと等が挙げられ、地区の特徴を参加者全員が共有されました。

今後、定期的にネットワーク推進会議が開かれ、見守り活動を通じての課題を共有し、「共助」できる環境がさらに充実されていくことでしょう。



ネットワーク会議の様子

『ぶくし川柳・短歌・俳句』募集します。

募集します。

志布志市社会福祉協議会では、新コーナーとして、川柳・短歌・俳句を通じて、今以上に幅広い年齢層の市民に福祉を身近に感じてもらう、広く福祉に興味を持って頂きたく、募集致します。

つきましては、左記の募集要項にて応募下さい。また、投稿総数に応じて掲載させていただきます。

○応募方法

・氏名又はペンネーム、町名を記入

・一人2作品まで

・ハガキ、郵送、FAX、Eメール ※電話による応募は致しません。

○応募締切

平成23年4月15日(金)まで

○掲載について

・平成23年5月26日発行「マンスリー」第32号に掲載予定

志布志市 社会福祉協議会

(志布志市健康ふれあいプラザ内)

〒899-7103

志布志町志布志 3222-1

TEL: 472-1800

FAX: 472-1593

E-mail:

info@shibushi-syakyo.jp

【東北関東大震災】義援金受付の案内

市民の皆様におかれましては、3月11日に発生した東北関東大震災に関しまして、被災地の皆様には何らかの支援やお手伝いができないかとお考えのことと思います。社会福祉協議会では、義援金窓口を開設しております。

① 義援金については志布志市社会福祉協議会において受け付けます。

志布志市社会福祉協議会では、被害を受けた地域に対して必要な支援が行えるように、義援金箱を設置しております。皆様方の温かいご支援をお願いいたします。

【義援金箱の設置場所と受付時間】

社会福祉協議会…志布志本所（健康ふれあいプラザ内 ※休館は日曜日のみ）

松山支所（老人福祉センター内）、有明支所（市民センター内）

午前8時30分から午後5時まで（本所は日曜日、各支所は土日を除く）

志布志市役所……本庁（本館正面入口横）、松山支所（市民課前）、志布志支所（2階総合案内窓口前）

午前8時30分から午後5時まで（休日等閉庁日を除く）

【設置期間】

平成23年3月14日（月）から平成23年4月30日（土）まで

② 救援物資の提供及びボランティアについては、現時点ではお控えください。

水や食料、毛布等の物資については、不足しているという報道もあるところですが、しかしながら現状では、被災地側の受け入れ態勢（受付窓口、保管場所、振り分け方法等）や輸送ルートが確立されておらず、被災県より救援物資及びボランティアについては控えていただきたい旨の連絡があったところです。3月18日時点では、志布志市と協議中でありますので、今しばらくお待ち頂きますようお願いいたします。また、現地関係機関への問い合わせはご遠慮ください。

③ 義援金を語る詐欺にご注意をしてください。

災害に乗じて義援金・募金と称した詐欺が発生しています。十分にご注意ください。なお、社会福祉協議会や市役所から、お願いの電話等することはございません。

《義援金等に関するお問い合わせ先》

社会福祉法人 志布志市社会福祉協議会

〒899-7103

鹿児島県志布志市志布志町志布志 3222-1

TEL：099-472-1800

FAX：099-472-1593

MAIL：info@shibushi-syakyo.jp

《支援の方針等に関するお問い合わせ先》

志布志市役所 企画政策課

〒899-7492

鹿児島県志布志市有明町野井倉 1756番地

TEL：099-474-1111（内線254）

FAX：099-474-2281

MAIL：kikakutyousei@city.shibushi.lg.jp

介護保険を利用できない方、必要なサービスが介護保険ではまかなえないきれない方、介護保険では出来ないサービスを希望する方、病気、障害等を持つ方で手助けを必要とされる方々に対してサービス提供を行う当事業所独自の介護サービス提供を目的とします。

対象者

概ね65歳以上の高齢者及び障害のある方で介護保険を利用できない方

- ・介護保険ではできないサービスを希望する方
- ・必要なサービスが介護保険でまかなえない方

実施地域

志布志市内

※それ以外の地域の方も、相談に応じます。



利用内容

I 身体介護	①食事介助、②衣服着脱の介助、③入浴介助、 ④身体の清拭、⑤洗髪その他必要な身体介護、 ⑥通院介助、⑦入院患者の食事介助、その他必要な身体介護
II 生活援助	①調理、②衣類等の洗濯、③居室掃除、④庭の掃除、 ⑤墓の掃除・生活必需品の買い物、⑥入院患者の洗濯 ⑦薬受け取り代行、⑧ゴミの分別、⑨布団干し、 ⑩関係機関との連絡、⑪書類の提出代行、⑫その他必要な家事

利用料金

I 身体介護	昼間	1時間	1,200円
	夜間・早朝	1時間	1,500円
	深夜	1時間	1,800円
II 生活援助	昼間	1時間	1,100円
	夜間・早朝	1時間	1,400円
	深夜	1時間	1,650円
※時間詳細	昼間	① 8:00 ~ 18:00	
	夜間・早朝	① 18:00 ~ 20:00 ② 5:00 ~ 8:00	
	深夜	① 20:00 ~ 5:00	

お問い合わせ先

志布志市社会福祉協議会
志布志本所（市健康ふれあいプラザ）

☎099-472-1800（担当：八代）



皆様の善意に感謝いたします

香典返し寄附金

次の方々より香典返しのお礼にかえて市社会福祉協議会にご寄附を頂きました。

ここに謹んでお悔やみ申し上げ故人のご冥福をお祈り申し上げます。頂きましたご寄附は、志布志市の地域福祉向上のために有意義に活用させていただきます。

(平成22年12月29日から平成23年2月28日まで)

自治会名 寄附者名 物故者名 (敬称略)

志布志地区

大原	中島直幸	故クニヨ
上昭和	宇都宮信也	故キミエ
鹿兒島市	安崎清武	故フミエ
下黒三首	原伊三郎	故久子
平床	城之園大介	故ミサ
昭和台	山添伸一	故多ツユ子
福島渡	柳ミキ子	故九州男
下柳	渡邊芳廣	故勇
横尾下	山床敏郎	故三郎
下田屋敷	天水亮吉	故美保子
松波住宅	加藤光子	故山口義満
坂之上	柳 治夫	故ミサオ
鎌石	持留ミドリ	故正春
町原	宮内美佐子	故浩一
東夏井	前田常雄	故サカエ
昭和台	金山ユクヨ	故高夫
東横尾下	岩満スミ子	故武俊

有明地区

上昭和	石原廉美	故ミチエ
提 口	外山ツルエ	故善也
実黒三首	垣内秀明	故孟子
尾野見	桃木美代子	故松原トミ

東山ノ口	前野政行	故正美
元平山	末廣照美	故ナスミ
上通山	古賀ヨシエ	故恒夫
稲荷下	西川ヒデ子	故豊
沢津ヶ峯	津田 登	故慶志
清水	池邊征一郎	故スミエ
通 山	清武勢津子	故高橋常雄
下宇都	北野裕則	故正義
下通山	中原カズ子	故井上勇三
沢津ヶ峯	津留利磨	故スミ子
押切西	福留まり子	故俊一
伊崎田中実	菅田忠男	故ヒサ
押切東	井上エミ	故世光
中吉村	高原ミユキ	故富義
上普現堂	向原政弘	故ヒロ
中吉村	内野茂子	故クマエ
茗ヶ谷	野口昭義	故ツキ

松山地区

上野久尾	釘田 正	故トキヨ
前 田	山元玉子	故八郎
鷲塚薔帯	井手 勇	故武光

篤志寄附金

次の事業所・団体・個人の方々より市社会福祉協議会にご寄附を頂きました。

地域福祉向上のために有意義に活用させていただきます。ありがとうございます。

志布志地区

・大黒グループ 60,000円 (敬称略)

物品寄附

志布志地区

- ・志布志市老人クラブ連合会 (敬称略)
- ・志布志支部 タオル多数
- ・住友生命保険相互社
- ・鹿兒島支社 車椅子 1台
- ・外之牧 匿名 雑巾 多数



※お詫びと訂正

第30号、香典返し寄附欄(有明地区)訂正前
 中央吉村 上野スミカ 故武光
 訂正後
 中央吉村 上野フミカ 故武光
 訂正後
 中央吉村 上野フミカ 故武光
 訂正しお詫び致します。

4月・5月の日程

相談内容等の秘密は厳守します。ぜひ、お越し下さい。なお、相談料は頂きません。

- : 志布志地区 472-1800 (健康ふれあいプラザ内)
- : 松山地区 487-2001 (老人福祉センター内)
- : 有明地区 474-0310 (市民センター内)

相談時間

10:00~15:00

心配ごとがありましたら...

～金銭、年金、家族、住宅、ご近所トラブルなど～

4月						5月					
日	月	火	水	木	金	日	月	火	水	木	金
					1	1	2	3	4	5	6
3	4	5	6	7	8	8	9	10	11	12	13
10	11	12	13	14	15	15	16	17	18	19	20
17	18	19	20	21	22	22	23	24	25	26	27
24	25	26	27	28	29	29	30	31			

※日程は変更になる場合があります。右記までお気軽にお問合せ下さい。

『広報紙編集員』 一年間をふり返って

市民編集員(2名)の方々に、平成22年度編集員として振り返っていただきました。

編集員を担うまで社協の広報紙は、とつきにくいうな硬いイメージや手元に届いても見出しを見て終わるといのが多かったが、編集員になり社協が広報紙で市民へどのように情報を届けるかなど、一文字一文字が大事なんだと思えました。

ひとつひとつの事業についてだけではなく、その事業がどこで何を求めているのかやどう繋いでいるのか、また成果や結果など発信する努力をされていることが見えるようになりました。

毎日の生活のなかで、密接な関わりを持っている社協の活動であるが、つい当たり前に過ぎて気付かないことも数多くあるのではないのでしょうか。そこに、福祉やボランティア情報を提供する広報紙が手元に届く意義があると思えます。

今後も地域の生活ぶりに目を向け、地域全体が安心安全な生活が出来るように少しでも、出来る範囲で力を注いでいきたいと思えます。

社協として、市民に伝えたいことや協力を求めることは、丁寧に説明することを努力していました。特に、募金や寄附の使い道についても、市民それぞれが納得いく使い方など吟味してもらった材料となる資料も掲載されています。是非、もっとたくさんの方に読んでいただきたいのです。

○編集員2名より